

事務事業評価シート

(評価対象年度：令和 2 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		交通安全施設等整備事業				②事業番号		5101					
③事業類型		4. 施設等維持管理事業		④開始年度		— 年度		⑤終了予定年度		年度		○ 設定なし	
⑥根拠法令等		○ 法令		条例		規則		要綱		計画等		その他	
⑦実施手法		○ 直営		全部委託		○ 一部委託		補助・負担		その他			
⑧関連予算科目コード		款		7		項		2		目		2	
⑨担当部名		都市整備部		⑩担当課名		道路課		会計		一般会計			

2. 事務事業の現状把握【DO】

【1】事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)		対象指標(対象者数を表す指標)		単位	
① 市民		① 人口		人	
②		②			
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)		活動指標(活動の量を表す指標)		単位	
カーブミラーや路面標示等の道路管理者が管理する交通安全施設について、要望等に基づき新設や修繕を行う。		① 要望件数		件	
		②			
		③			
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	
市民の交通安全を確保し、道路等を安全に利用できる状態を保つ。		① 処理件数		件	
		計算式			
		②			
		計算式			
		③			
		計算式			
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)		総合計画体系上の位置付け			
安全な道路環境の維持・向上を図ることができる。		政策(章)		4 おだやかに暮らせる、安全と安心のまち	
		施策大(節)		2 暮らしの不安や生活をおびやかす危険のないまちをめざします	
		施策中		3 交通安全の推進	
		施策小		2 交通安全施設の整備	

【2】各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R4目標	
対象指標①	人口	人	61,984	61,457	60,795	-	-	指標値の推移における 特殊要因などの説明
対象指標②								
活動指標①	要望件数	件	22	24	21	-	-	
活動指標②								—
活動指標③								
成果指標①	処理件数	件	22	24	17	-	-	
成果指標②								
成果指標③								
事業費	投入人員	正職員	人	1.42	1.42	1.40	1.40	
		任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	
		臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	
	事業費	人件費(投入人員＊単価)	千円	11,512	10,951	10,685	10,685	
		直接事業費	千円	8,648	8,762	8,946	9,110	
		総事業費	千円	20,160	19,713	19,631	19,795	
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	—	
	府支出金	千円	9,338	9,041	9,786	9,663		
	受益者負担金	千円	0	0		0		
	その他特定財源	千円	0	0		0		
	一般財源	千円	10,822	10,672	9,845	10,132		

【3】事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	道路環境の向上と、道路利用者の安全確保を図ることから実施
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	通学路等における歩行者への安全対策がより強く求められるようになった。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[1]の評価

A

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

B

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価

A

4. 総合評価

5. 改革、改善案【ACTION】

＜今後の方向性＞ イ ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 ↓ (年まで) エ. 休止 ↓ (年から) オ. 廃止 ↓ (年から) ↓	
＜今後の展開方針＞ a. 重点化する(集中的なコスト投入) c. 効率化する(コストを下げる) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)	
①改革、改善の具体案、実施年度など	警察等との合同点検による危険箇所等の把握を行い、安全対策の必要性を検討のうえ、重点的に対策工事を実施していく。
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	地域の要望等に対しても、きめ細かい対応が必要になってくる。